

目次 Contents

- 3 すそのんプレミアム付商品券
- 4 特集 あなたはどこへ避難する？
- 8 トピックス

元気シニアのためのフレイル予防／
市立幼稚園入園児募集／市職員募集
／農業委員会活動開始／ごみの分別
徹底を／新火葬施設整備工事／第4
次国土利用計画裾野市計画（素案）
／第5次裾野市総合計画（素案）／
ひとり親世帯臨時特別給付金

- 13 インフォメーション



天然藍染めに魅せられて

みなくち
水口 よお子さん
(72歳・二ツ屋二)

全国公募の展示会、国展に初応募した2009年以降、昨年まで11回連続入選（うち1回は受賞）する水口さんの藍染め。50歳のときに、藍染展を見て、天然藍染めの世界に興味を持ちました。水口さんの藍染めは、微生物や酵素の働きで染料となるすくもを発酵させたり、染料を染み込ませた手絞りの布を空気中の酸素や水との接触で発色させたりと、工程の多さと技術の難しさから地獄建とも呼ばれる天然灰汁発酵建という伝統的な技法を用います。

「紺と白の濃淡やにじみで繊細な色づかいを表現することが楽しく、染めた後に浮かび上がる藍模様を見る瞬間、胸がわくわくします」と話す水口さん。

水口さんは、藍の栽培やすくもの発酵管理、作品のデザインなど、天然藍染めの全工程をこなします。手絞りによるにじみを交え制作された作品は、光を返すと表現されるように、光に当たるとキラキラとした独特の輝きを返します。

本年度の国展は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりましたが「目標があると励みになります」と語る水口さんは、来年1月6日(水)から25日(月)まで三島信用金庫さんしんギャラリー善-ZEN-で予定している個展に向けて、作品づくりを楽しんでいます。

※個展は新型コロナウイルス感染症で変更になる場合があります。



表紙 Front cover



水辺を彩るハスの花

深良地区の松寿院でハスが美しい花を咲かせていました。

ハスは、毎年7月から8月にかけて咲く夏の花で、花言葉は清らかな心、雄弁などです。

静かな寺の雰囲気の中で神秘的な佇まいでした。



susonobito No.17